



～2019年3月に卒業された先輩のタメになる話～

卒業生の先輩方に、①国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）、②大学4年間を通しての感想、③後輩へのメッセージをお聞きしました！！

介護福祉士の国家試験を受けられた先輩、ダブルライセンス（社福・介護）の先輩に、上の3つの質問に答えていただきました！

今後の生活にとっても役に立つコメントを多くいただいております！！(^▽^)/

☆ 介護福祉士・社会福祉士のダブルライセンス取得に挑戦した先輩

K・S 先輩

① 国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

国家試験当日は早めに会場へ行くことをおすすめします。会場は広いので、かなり緊張しました。必要であれば、常備薬、ひざ掛けを持っていくといいと思います。

人が多いのでトイレがかなり混みあいます。

試験は、問題をしっかり読んで落ち着いて考えることが大切だと思います。時間が余ったとしても、最後まで見直し、解き直し、マークの確認をすることをおすすめします。私は、自己採点でマークミスを見つけました。とても、悔しい思いをします。たった1点でも、合否に大きく影響する可能性があるのです。時間いっぱい頑張ってください。

試験勉強は、私はレビューブックと国試対策講座のレジュメや、資料等を活用していました。過去問を繰り返して解きました。人それぞれに合った勉強の方法があると思うので、いろんな人の話を聞いてみるといいかと思います。

② 大学4年間を通しての感想

4年間を振り返って、この大学で福祉を学んで本当に良かったと思っています。

この4年間でたくさんのことを学び成長することができました。中でも、実習で学んだことが大きいと感じていて、実際に現場で学べることはとても貴重です。

実習では、うまくいかないことがたくさんあり、辛い思いをすることもありました。利用者さんと上手くコミュニケーションが取れなかったり、不器用で介護が上手くできなかったり、いろいろありました。それでも、実習指導者さんや施設の利用者さん、大学の先生や同級生に支えられながら、少しずつ変わることができました。

実習では多くのことを学びましたが、その中でも特に身に染みて実感したことは、自分から行動することの大切さです。人から何か言われるのを待ってはいだめだということを学びました。自分から行動することで、より多くのことを知り、学ぶことができます。これからも、自分から行動することを心がけ、いろんなことを勉強したいと思います。

③ 後輩へのメッセージ

残りの大学生活、悔いのないように、しっかり勉強して、しっかり遊んで、楽しんでください。



Y・S 先輩

① 国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

私は、社会福祉士・介護福祉士をダブル受験しました。そのため、勉強は社会福祉士の科目をメインに進めていました。その上で、「生活支援技術」や「医療的ケア」など、介護福祉士特有の科目を国試1週間前に取り組んでカバーしました。

介護福祉士のための受験を目指す方は、制度や歴史を含む「社会の理解」に苦手意識を持つと思います。

新しい制度があれば確実に押さえ、歴史は大まかな流れを覚えると良いです。

さらに、すべての教科に言えることですが、単純な暗記はなかなか頭に入りにくいです。出来事の根拠を理解するとより頭に残りやすいと思います。

また、私は6月末までに就活・卒論を一通り終えたので、その後は国試の勉強一本に集中することができました。

4年生になるとやらなければならないことが一気に増えるので、3年生の後期からできることは少しずつ計画的に進めることをおすすめします。

1・2年生の間は授業をしっかりと聞いておくことが大事です。そうすると後々、国試の勉強を始めたときに「そういえばあの授業で..」と思い出しながら勉強できるので！！

② 大学4年間を通しての感想

大学では介護福祉士になるための様々な知識を学ぶことができたと思います。座学や学内での実技では介護をするにあたっての基礎的な知識やより良い介護を行うための根拠を、実習では施設で利用者さんと接することで、人として・専門職として成長できたと思います。

特に実習は全部で3回ありましたが、いずれも素敵な出会いがあり、忘れることはできない時間だったと言えます。失敗したと感じたことも、上手くできたと思えたこともどちらも自分の、さらには今後私がかかわっていく利用者さんたちの糧となる経験だったと思います。

③ 後輩へのメッセージ

4年間はほんの僅かです。でも「ほんの僅か」の期間で勉強でも趣味でも、やりたいこと・できること・やらなければならないことがあれば、それらをたくさんこなしてみてください。

たったの4年間ですが、その中で圧縮された経験が、それより先のみなさんの力になってくれると思います。

☆ 介護福祉士・社会福祉士のダブルライセンス取得に挑戦した先輩

Y・A 先輩

①国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

第31回の国家試験では、避難場所のマークや防虫剤についてや洗濯物の表示など、意識すると日常にあるものが問題に出ている印象でした。学校で習ったこと以外にも、日常生活の中で様々なところに目を向けているといいかなと思います。

会場に着くまでは、好きな曲を聴きながら心を落ち着かせていました。会場内には多くの方がいて少しビビります。

勉強は、社会福祉士の国家試験も受験予定だったため、生活支援技術や医療的ケアなど社会福祉士の勉強ではがっつり触れない部分を主にしていました。

（介護の勉強は、4年生になってある介護の対策講座と試験1ヶ月前に模擬問題集を解く感じてした）

②大学4年間を通しての感想

学内や施設等であるボランティア、イベントに多く参加したことによって自分の考えや視野を広げることができたように思います。

（レクリエーションやコミュニケーション技術の授業で習ったことを活用する練習にもなりました）

③後輩へのメッセージ

遊べるうちにしっかり遊んで、自分がやってみたいことには挑戦したほうがいいですよ！

N・Y 先輩

①国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

私は、社会福祉士・介護福祉士の両方を受験しました。二つの受験を行うにあたって、どうしてもどちらかを優先して勉強を行わなくてはなりませんでした。

ですが、両方を受験する場合は、社会福祉士の勉強をベースに学習を深めていけば、介護福祉士の国家試験には対応できると思います。

介護福祉士一本の方は「社会の理解」の科目についてはしっかりと学習することをオススメします。

②大学4年間を通しての感想

介護福祉学専攻は、座学だけでなく、実技も多く行います。

この実技は、今後の学習や将来に確実に役に立ちます。

そして、介護福祉士の必要性を直に受け止めて、知ることができるので、しっかり聞くことが大切です。

③後輩へのメッセージ

四年間は本当にあっという間に過ぎていきます。

だからこそ、遊びも勉強も全力で行ってください。

これから大変なこともあると思いますが、一日一日楽しんで、大学生活を満喫してください。

☆ 介護福祉士ライセンス取得に挑戦した先輩

S・U 先輩

①国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

国家試験当日、朝からとても緊張していましたが、会場に着くと先生方が入り口で待っていてくださり、応援の言葉をかけてくださいました。そのおかげで少し緊張もほぐれ、落ち着いて試験に臨むことができました。過去問を何度も繰り返しやり、模擬試験の問題も自分がどの部分が苦手だったのかを見返し、苦手科目を重点的に勉強していました。

②大学4年間を通しての感想

介護福祉学専攻の4年間を通して、私は介護の基本的な知識や専門職としての知識、技術など多くのことを学びました。

介護実習では、現場でしか経験することのできない事をたくさんさせていただき、先生方からは多くの助言をいただきました。自分が将来、どのような介護福祉士になりたいのかを考える良い機会となりました。

③後輩へのメッセージ

大学の4年間は、とにかくあっという間に過ぎていきます。まだ大丈夫だと安心していると時間が無くなり、焦って物事をするようになってしまうので、国家試験の勉強もそうですが、自分の苦手な分野はコツコツと少しずつでもいので克服をしていくことが大切だと思います。これから、国家試験の受験に向けて頑張ってください。

Y・H 先輩

①国家試験報告（当日の雰囲気や自分の勉強方法など）

自己採点の結果、90点中盤でした。

100点以上を取りたかったので少し悔しいですが、本番で合格基準を上回れてよかったと思います。

②大学4年間を通しての感想

大学の内外で様々な人と出会い、自分の見識が深まった4年間でした。

介護福祉学専攻では、介護に関する基本的な知識や技術と、基本の知識を応用した介護過程の展開を学びました。

また、先生方は現場経験も豊富で、現場での貴重な経験談を沢山話してくださいました。

③後輩へのメッセージ

皆さんが介護現場に就職したとき、どこかの現場で一緒に仕事ができたら嬉しいです。その時はよろしく願います。



介護福祉学専攻への問い合わせ先：

Twitter：@Hiukaigo メール：hiukaigo@yahoo.com

編集者：森藤. 佛崎. 岡. 佐々木.